

2027年度

# 認定看護師教育課程 皮膚・排泄ケア分野

特定行為研修を組み込んでいる教育課程  
(B課程教育機関)

募集案内



京都橘大学  
看護教育研修センター





## 教育理念

生命に対して深い畏敬の念を抱き、看護の実践と創造を通して社会に貢献できる人材を養成する。また、豊かな人間性とコミュニケーション能力を備え、俯瞰力と深い倫理観をもった看護専門職者を養成する。

皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程においては、医療、介護のあらゆる場で、WOC（創傷・オストミー・失禁）ケアを必要とする対象者に対し、高度な専門知識と熟練した看護技術を用いて水準の高い看護実践ができる看護師、チーム医療においてリーダーシップを発揮できる看護師を育成する。

## 教育目的

- ① 皮膚・排泄ケア分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を育成する。
- ② 皮膚・排泄ケア分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。
- ③ 皮膚・排泄ケア分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。
- ④ 皮膚・排泄ケア分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

## 京都橘大学看護教育研修センター 認定看護師教育課程の特徴

### 全国各地に広がる 修了生ネットワーク

本センターは、北は北海道、南は九州から研修生が集まっています。研修期間と認定審査を経て認定看護師の資格を取得した修了生は、全国各地の施設で活躍しています。  
2007年開講からの修了生は計494名となりました。

### 充実した 学習環境

大学に併設された本センターでは、図書館や自習室などの大学施設を利用することができます。また、認定看護師教育課程のための教室が設けられており、皮膚・排泄ケアに特化した機器や設備が取り揃えられています。  
専任教員は、FD研修・教育に関するセミナーなどを受講し、教育能力を高めるとともに、組織的に教育課程の運営や内容の改善、向上に取り組んでいます。

### 修了後の 手厚いフォロー

教育課程修了から認定看護師認定審査までの間、臨床での確実な知識習得とモチベーションの維持、認定審査合格を目的としたフォローアップ研修を行っています。  
また、認定審査合格後も認定看護師を対象としたフォローアップセミナーを開催し、新たな知識や技術のブラッシュアップをサポートしています。



》「履修証明プログラム」について

2007年の学校教育法の改正により、大学等における「履修証明制度」が創設されました(学校教育法第105条)。

これは、従来の学士などの学位とは異なり、社会人等を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム(履修証明プログラム)を受講することにより、キャリアアップ、専門性の向上、再就職、資格試験の勉強などに活用できる制度です。

また、教育機関等における学習成果をキャリア形成に活かすため、履歴書等への記載が可能です。

本学では、2013年度に認定看護師教育課程において履修証明制度を導入し、2013年度修了生から「認定看護師教育課程修了証」とともに「履修証明書」を交付します。

》「職業実践力育成プログラム(BP)」について

2025年度より、文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)」に認定されました。「職業実践力育成プログラム(BP=Brush up Program for professional)」とは、大学・大学院・短期大学・高等専門学校におけるプログラムの受講を通じた社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを「職業実践力育成プログラム(BP)」として文部科学大臣が認定する制度です。

》教育訓練給付金制度について

2025年4月1日より、厚生労働大臣の指定する「教育訓練給付制度」の専門実践教育訓練講座に指定されました。「教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)」とは、労働者の主体的なスキルアップを支援するため、厚生労働大臣の指定を受けた教育訓練を受講・修了した方に対し、受講費用の一部が支給される制度です。

諸条件など、詳細につきましては、厚生労働省のホームページをご確認ください。

■教育課程概要

本学は、特定行為研修を組み込んでいる教育課程(B課程教育機関)です。

- 分野名：皮膚・排泄ケア
- 教育期間：1年[2027年4月12日(月)～2028年3月17日(金)予定]
- 入学定員：30名

■年間スケジュール

| 4月  | 5月      | 6月 | 7月 | 8月   | 9月 | 10月 | 11月 | 12月      | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|---------|----|----|------|----|-----|-----|----------|----|----|----|
| 入学式 | eラーニング* |    |    | 集合教育 |    |     | 実習* | 学内演習 修了式 |    |    |    |

- \*eラーニングはご自身のパソコンやタブレットなどを使用し、インターネットを利用して登校せずに受講する学習形態です。疑問などがあればシステムからいつでも質問ができます。eラーニングの登校日には科目試験や演習を行い、研修生同士の交流や情報交換ができます。
- \*eラーニングを勤務しながら学ぶ場合は、学習時間の確保が必要です。
- \*特定行為研修の実習は研修生の所属施設(自施設)で行うことを基本としています。自施設が実習の要件を満たさない場合は看護教育研修センターの協力施設(他施設)での実習を考慮します。詳細は入学手続き終了後にお知らせします。

■カリキュラム

| 分類    |                            |                | 時間                  |     |     |
|-------|----------------------------|----------------|---------------------|-----|-----|
| 共通科目  | 1                          | 臨床病態生理学        | 40                  | 380 |     |
|       | 2                          | 臨床推論           | 45                  |     |     |
|       | 3                          | 臨床推論:医療面接      | 15                  |     |     |
|       | 4                          | フィジカルアセスメント:基礎 | 30                  |     |     |
|       | 5                          | フィジカルアセスメント:応用 | 30                  |     |     |
|       | 6                          | 臨床薬理学:薬物動態     | 15                  |     |     |
|       | 7                          | 臨床薬理学:薬理作用     | 15                  |     |     |
|       | 8                          | 臨床薬理学:薬物治療・管理  | 30                  |     |     |
|       | 9                          | 疾病・臨床病態概論      | 40                  |     |     |
|       | 10                         | 疾病・臨床病態概論:状況別  | 15                  |     |     |
|       | 11                         | 医療安全学:医療倫理     | 15                  |     |     |
|       | 12                         | 医療安全学:医療安全管理   | 15                  |     |     |
|       | 13                         | チーム医療論(特定行為実践) | 15                  |     |     |
|       | 14                         | 特定行為実践         | 15                  |     |     |
|       | 15                         | 指導             | 15                  |     |     |
|       | 16                         | 相談             | 15                  |     |     |
|       | 17                         | 看護管理           | 15                  |     |     |
| 専門科目  | 認定看護分野<br>専門科目             | 1              | 皮膚・排泄ケア概論           | 15  | 195 |
|       |                            | 2              | 皮膚のアセスメントとケア        | 30  |     |
|       |                            | 3              | 精神面のアセスメントとケア       | 15  |     |
|       |                            | 4              | 排便機能に破綻をきたす病態の理解と評価 | 15  |     |
|       |                            | 5              | 排尿機能に破綻をきたす病態の理解と評価 | 15  |     |
|       |                            | 6              | ストーマの管理             | 30  |     |
|       |                            | 7              | 排泄障害の管理             | 30  |     |
|       |                            | 8              | 創傷のアセスメントと管理        | 45  |     |
|       | 特定行為研修<br>区分別科目            | 1              | 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連   | 22  | 68  |
|       |                            | 2              | 創傷管理関連              | 46  |     |
| 演習・実習 | 統合演習                       |                | 15                  | 165 |     |
|       | 臨地実習<br>※特定行為研修区分別科目の実習を含む |                | 150                 |     |     |
| 合計時間数 |                            |                |                     | 808 |     |

※45分を1時間とみなしています。





## ■ 認定看護師教育課程への出願資格

下記の要件をすべて満たしていることを条件とする。

- (1) 日本国の看護師免許を有する者。
- (2) 上記の看護師免許を取得後、通算5年以上（出願時点）の実務研修\*を有する者。
- (3) (2)のうち、下記に定める看護分野の実務研修\*を有すること。

\*実務研修とは、看護師としての看護実務経験を意味します。

### ＜皮膚・排泄ケア＞

- ・ 通算3年以上（出願時点）、皮膚・排泄ケア領域における看護実績を有すること。
- ・ 皮膚・排泄ケア領域における看護を5例以上担当した実績を有すること。ただし、創傷、ストーマ、排泄管理の事例を各1例以上含むこと。
- ・ 現在、皮膚・排泄ケア領域における看護を行う臨床現場に勤務していることが望ましい。

## 修了生からの メッセージ

### 看護専門職としての指針を学び 成長し続けられる環境と 仲間との出会い

2020 年度修了（14 期生）  
京都民医連あすかい病院  
皮膚・排泄ケア認定看護師  
河村 淳一郎

私は所属する病院の皮膚・排泄ケア認定看護師に憧れて、WOC 分野に興味を持ちました。自分の学んで得た知識や技術が臨床現場で、患者・家族に還元出来た時の喜びが忘れられず、さらに勉強を重ねれば、もっとできる可能性があると思い、皮膚・排泄ケア認定看護師を目指しました。

仕事を離れて、家庭を持ちながら研修生になることに不安はありましたが、一度しかない人生だから、チャンスがあるなら目指したいと思い、挑戦を決意しました。

研修生は、全国から同じ認定看護師になりたい同志が集まるので、出会ったその日から打ち解け合いました。在学中は、各々の経験から知恵を出し合い、学び合いながら筆記試験や実習を乗り越えました。卒業後、各施設に戻ってからも、日々の悩みや成果を共有して交流を続けています。



## ■ 願書・選抜・入学の概要

|          |                                                                                                                                                                      |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 募集要項     | 募集要項および出願書類は本学ホームページよりダウンロードしてください。<br><a href="https://www.tachibana-u.ac.jp/about/nursing/curriculum/">https://www.tachibana-u.ac.jp/about/nursing/curriculum/</a> |
| 出願期間     | 2026年9月1日(火)～2026年9月18日(金) ※当日消印有効                                                                                                                                   |
| 入学検定料    | 50,000円                                                                                                                                                              |
| 入学選抜試験日程 | 〔第一次試験〕2026年11月28日(土)<br>〔第二次試験〕2026年11月29日(日)                                                                                                                       |
| 合格発表     | 2026年12月3日(木) 10:00 本学ホームページにて発表                                                                                                                                     |
| 入学金・授業料  | 入学金 50,000円<br>授業料 1,100,000円（うち特定行為研修授業料 350,000円）                                                                                                                  |

※すでに特定行為研修を修了した方は、所定の手続きを経て本学が認めた場合に教育課程の一部を履修したものとみなし、当該科目の授業料を免除することがあります。

※このほか書籍代、実習先への交通費、実習保険料、PCや通信費などが必要となります。

※選抜にあたって、合格判定基準を満たす京都府内の在勤者を優先する場合があります。

在学中には、全国の病院や診療所、訪問看護ステーションなどで活躍されている講師の方々からの貴重な講義を聴くことができました。さらに、設備の整った実習施設や医学関連の書籍が揃う大きな図書館があります。そして、ストーマケアや創傷ケアに関する物品が充実しており、見て、触れて、使って学びを深めることができました。

教職員の方々からは、学習の仕方や自身の詰め甘さなど、自分でも気づかなかったところを指摘していただき、認定看護師としての指導を受けながら、人としても成長できました。

特に、私たちの在学中は、新型コロナウイルスが流行し、緊急事態宣言が出された年でした。そんな

大変な中でも、私たち研修生の学びたい意欲を尊重して課程開講に尽力していただいた教職員の方々の熱意には、今も感謝の気持ちでいっぱいです。

現在私は、一般病棟に所属しながら WOC 分野のケアに従事しています。それと同時に、近隣の診療所や訪問看護ステーション、老人保健施設などとも連携して、施設や在宅で生活する方々や、その方々を支えるスタッフとも繋がりを広げています。

京都橘大学での研修期間があったから、俯瞰力が身につき、今ある患者・家族の笑顔にも出会えたと思います。勉強は大変でしたが、あの時の苦労や努力は、全て今の自分の力になっているので、思い切って挑戦してよかったと思っています。





## 京都橋大学 看護教育研修センター

〔お問い合わせ先〕

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町 34

〔TEL〕 075-574-4133

〔受付時間〕 9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

〔E-mail〕 cpdn@tachibana-u.ac.jp

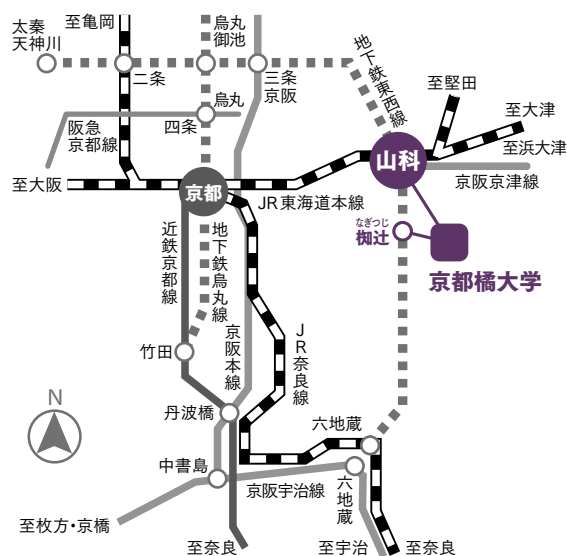


HP



E-mail

〔ACCESS MAP〕



- 山科駅より直通バス 16分
- 栂辻駅より徒歩 15分(無料シャトルバスあり※学期を除く)